

東急グループの五島育英会が経営母体となっていた武蔵工業大学と東横学園女子短期大学が4月に統合、校名を「東京都市大学」と変え、新たなスタートを切った。新大学は「都市生活学部」と「人間科学部」を新設。日本初の学部となる都市生活学部には国内外から高い関心が寄せられている。武蔵工大から引き続き学長の職務を担う中村英夫学長と都市生活学部の平本一雄学部長に聞いた。

東京都市大学

「都市生活」下支え 日本初の学部新設

—いよいよ東京都市大
が発足しました。
—具体的には、どうい
うこと学到ぶ学部です

「大学間競争は年々激
しさを増している。生き

残るために、他にない
特徴を見いださないとい
けない。武蔵工大も07年
に工学部に生体医工学
学科を立ち上げ、差別化
を進めてきた。その流れ

—09年度の入試はどう
でしたか。

「不況の真っただ中で
他大学は軒並み志願者を
減らしているが、本学は
昨年と比べて約25%志願
者が増えた。志願者が増
えると当然、学生のレベ

の中で同じ五島育英会の
東横女子短大との統合を
決めた」

都市ビジネス創造

サービス企画力など育成

「都市をテーマにビジネ
ネスを創造できる人を育
てる学部だ。都市にかか
わる空間や商品、サービ
スを企画、実現する力を
で商業や経営学をベース
に学ぶが、理系や芸術系
のスキルも同時に習得で
きる」

「カリキュラムで重視
したことは、「全員に『3大パソコ
ンスキル』を身に付けて
もらう。入学と同時にノ
を高めてもらう」

—旧武蔵工大以来、き
め細かい少人数教育が特
徴となっています。
「1期生は196人。



デザイン能力も高めて
もらおう…と平本さん

対して専任教員は20人。
教員は国立大学の教授を
始め、実際にビジネスの
世界や行政などの現場で
大きなプロジェクトを経
験してきた人たちばかり。
これらだけの教員がそ
ろっているのは、ほかに
東大のまちづくり大学院
だけ。その上で、1クラス
10~15人の少人数制を
採用している」

（南東京・大和楽）

総合研究所を強化

燃料電池など開発・深耕



理工系の女子学生増加策に
力を入れる…と中村さん

「理工系の女子学生を
増やすことも大きなテーマ。
そのためにはまず女性
の先生を一定数まで増や
す。若者の理科離れが言
われて久しいが、中学や
高校で理科、科学に興味
を持ってもらうための仕
組み作りを本学と一緒に
なって取り組みたい。こ

記者の目

街づくりで
実績を期待

理工系大
と文系短大
の統合だ
が、中村学
長は「総合
大学になつ
たとは思わない。その
つもりもない」と話

からは、女性の能力を
積極的に活用しないと世
界でたたかっていけな
い」

「まず総合研究所を強
化する。工学部から独立
した機関として力を持た
せる。外部からも優秀な
人材を集め研究費も増額
した上で、独自に予算を
組む。最先端の実験装置
を用い、燃料電池の研究
やシリコン系ナノデバイ
スの開発、武蔵工大時代
から長年研究が進められ
てきた水素エネルギーの
研究を行う」

「理工系の女子学生を
増やすことも大きなテーマ。
そのためにはまず女性
の先生を一定数まで増や
す。若者の理科離れが言
われて久しいが、中学や
高校で理科、科学に興味
を持ってもらうための仕
組み作りを本学と一緒に
なって取り組みたい。こ

れから、女性の能力を
積極的に活用しないと世
界でたたかっていけな
い」

（南東京・大和楽）